

平成31年度 武雄市立橘小学校における教育活動の重点事項

① 学校教育目標

「生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐ ときわっ子の育成」

- ・「生きる力」とは、知・徳・体のバランスのとれた力のことである。
- ・「学校・家庭・地域の思い」とは、教職員・保護者・地域の人たちが、様々な教育活動を通して育ってほしい「ときわっ子」の姿のことである。

② 本年度教育の重点

ア 確かな学力を育む教育活動の推進

他と関わりながら、進んで学ぼうとする意欲と態度を育てる。また、基礎学力の向上を図る。

- 自ら考え、互いに学び合い、考えを深める授業づくりと授業研究会の充実
- ICTの効果的な活用
- 自主学習及び予習課題を用いた家庭学習の充実
- 学習規律の徹底
- 花まるタイムの充実
- 児童の学力や学習状況の把握・分析及び活用

イ 豊かな心を育む教育活動の推進

互いを認め合い、支え合う関わりの中で、自己肯定感を高め、より良い生き方を目指そうとする心を育てる。また、文化的活動を通して、豊かな感性を育てる。

- 道徳教育の充実
- 人権・同和教育の充実
- 地域と連携した体験活動の充実
- 芸術鑑賞会や読み聞かせの実施
- 不登校やいじめ問題に対する未然防止や早期発見・早期対応の徹底
- SCやSSW、民生委員等の関係機関との連携強化

ウ 健やかな体を育む教育活動の推進

自分の心と体の健康に関心を持ち、めあてをもって生活しようとする態度を育てる。また、食生活の改善に努め、感謝の気持ちをもって食事をしようとする態度を育てる。

- 営農教室や田んぼの学校を通じた食育活動の推進
- 体育的行事や運動委員会による自主的な活動

エ 幼・保・小・中連携の推進

幼保及び中学校職員との情報交換を通して、基本的な生活習慣並びに中学校進学を見通した指導などの連携を図る。

- 授業参観並びに合同研修会の実施

オ 時代のニーズに対応した教育の推進

国、県、市が求める教育施策等に対する教職員の理解と資質・能力の向上を図る。

- 外国語活動の充実
- プログラミング教育の充実

カ 家庭・地域との連携強化

家庭及び地域一体となって児童を育てる開かれた学校づくりに積極的に取り組む。

- 育友会活動の充実
- 官民一体型学校づくり（4年目）の推進
- コミュニティ・スクール（3年目）の充実